

寄附講義レポート①

記:北村

1. 実施日 : 23年10月12日(木)
2. 講師 : 宮本真由美さん(52期)
3. 目次(項目) :
 - ① 自己紹介 ②チェックイン ③私の経歴・仕事について ④LINEヤフーについて ⑤私のキャリア感 ⑥働く幸せ ⑦チェックアウト・小テスト
4. 内容 :
 - ・自己紹介に続いて、「本日のテーマ」として「image」(そう遠くない未来を創造する)ということが示されました。要は、受動的に講義を聞くだけでなく自らが考えるように、と講義の冒頭で要請されたものです。
 - ・これに続いて「Dialogue(対話)」と「Discussion(議論)」についても短い解説があり、これへの積極的参加が要請されました。
 - ・これに続いては早速の「対話」が始まります。テーマは「現時点での職業観について」で、5名前後の8チームに分けられて、個人ワーク5分、チーム対話10分、各チーム発表1分が示され、対話が始まりました。
 - ・各チームからの発表が終わったあとは、講師の職歴についての紹介です。卒業後すぐに入社した会社(ピップフジモト)で担当していた仕事内容や自分の立場などについて述べた後、そこを転職した理由ときっかけ、2つ目の会社での現在の仕事内容や会社(ラインヤフー)の概要についての説明がありました。
 - ・ひと通りの解説のあと、自分が「なぜ転職したのか?」についての説明の中では心理学用語の「プランド・ハプンスタンス」(計画された偶発性)という概念の紹介があり、人生には一見偶然に見えるが実は必然性に導かれていた、と感ずるようなことが誰にもあり得る。その時にどのように行動するかが大切である、ということと、一見無駄な経験と思われたことでも実は現在の役に立っていることは多い、ということ自分の体験を例を挙げて説明されました。
 - ・次には「働く『幸せ』について考えましょう!」ということで、「well-being」という概念の説明のあと、アメリカやアジアの国々6カ国の中で働く人々の幸福度が一番高かった国はどこか?というクイズが出され、各チームごとに対話が始まり発表も行われました。
 - ・その上で、2回目のチーム対話が始まります。テーマは「あなたのキャリアにおけるwell-beingは?」というもので、受講者の皆さんも慣れた様子で熱心に対話を始め、終了後は元気に発表します。
 - ・最後には「imageは大切だが、『思い込み』はやめ『素直』に」というアドバイスをお伝えして講義は終了しました。

・講師の最後は小テストです。テーマは次の2点でした。

- ①「あなたにとってはたらくとはどんな意味がありますか？」
- ②「今日の講義を通じてimageできた就職先内定までに解決すべき問題は？」

5. 感想：

- ① 講師が一方向的にしゃべる授業ではなく、講師とのインタラクティブな対話や、学生同士の対話を促す努力と工夫をされていたのはよかった。
※「チーム対話」の時間は、@25分×2回＝50分＋クイズ(5分)で、30分の小テストを除く講義時間150分のうちの約60分を占めていた。
- ② 後半では、「ここでクイズ！」も出題しチーム内で対話を促す工夫があった。
- ③ 「経歴紹介」も、単なる自己紹介ではなく、どういう意図で異動を希望したかや、異動後の部署では(同じ職種でも)仕事内容がどう変わったのか(本社とブランチの違い)、など「職業観」と関わる内容にも触れられていた。
- ④ 早い段階で、「今日は『ダイアログ(対話)』なので正解はない。自分がどう思うのかを大切に、思い切って自分の考えを述べてください」との説明があった。
- ⑤ 「BCP」など学生になじみの少ない用語のひとつ説明があった方がよかった。(ビジネスマンの常識だが学生の常識ではない用語、には留意されること)

以上



チーム対話の様子